



2025年2月12日

各 位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 伸弘
(コード番号 5713 東証プライム)
問合せ先 広報IR部IRグループ長 井上敦行
(TEL. 03-3436-7705)

業績予想の修正、減損損失の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2025年3月期第3四半期連結会計期間において、減損損失を計上いたしました。また、2024年11月12日に公表しました2025年3月期通期連結業績予想及び2024年5月9日に公表しました期末配当予想につきまして、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)の修正

(単位:百万円、円/銭)

	売上高	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	1,555,000	96,000	72,000	67,000	243.85
今回予想(B)	1,573,000	58,000	25,000	31,000	112.79
増減額(B-A)	18,000	△38,000	△47,000	△36,000	
増減率(%)	1.2	△39.6	△65.3	△53.7	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	1,445,388	95,795	60,803	58,601	213.28

(2) 修正の理由

2025年3月期通期連結業績予想につきましては、前回発表予想に比べ為替は円安基調が続くと見込まれるものの、主に当第3四半期連結会計期間に減損損失を計上したことにより、前回予想に比べ減益の見通しとなりました。そのため上記のとおり修正いたします。

なお、減損損失の内容については、2. 減損損失の計上に記載のとおりです。

2. 減損損失の計上

当社のニッケル製錬子会社であるコーラルベイニッケル社(Coral Bay Nickel Corporation 本社: フィリピン共和国パラワン州)において、ニッケル・コバルト価格の下落、生産コストの上昇、鉱石品質の低下に伴う将来的な生産量の見直しを踏まえて経済性を総合的に評価した結果、2025年3月期第3四半期連結会計期間に、保有する固定資産について50,060百万円の減損損失を計上しました。

また当社ニッケル事業において、製錬プロセスの試験が終了したため試験で使用していた設備を転用せず撤去することとした結果、2025年3月期第3四半期連結会計期間に、当該設備について3,413百万円の減損損失を計上しました。

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2024年5月9日発表)	49円00銭	50円00銭	99円00銭
今回修正予想		55円00銭	104円00銭
当期実績	49円00銭		
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	35円00銭	63円00銭	98円00銭

(2) 修正の理由

当社の配当方針「剰余金の配当は、原則連結配当性向35%以上とし、下限指標はDOE(※)1.5%とする」に基づき、1株当たりの年間配当金は104円となる予定です。期末配当の予想については前回発表予想の1株当たり50円に対し5円増配し、55円といたします。

※DOE(連結株主資本配当率) = 年間配当総額 ÷ 親会社の所有者に帰属する連結純資産

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上